

# 令和6年度 福生市立学校 学校経営方針

学校名 福生市立福生第七小学校	校長名 山岸 史子 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">公印</span>
-----------------	--------------------------------------------------------------------------

## 教育目標

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| ○よく考え、進んで学ぶ子   | 「問題発見・課題解決力」        |
| ◎明るく、おもいやりのある子 | 「コミュニケーション能力」       |
| ○体をきたえ、がんばりぬく子 | 「体づくりに向けた実践・豊かな人間性」 |

## 1 目指す特色ある学校像

### ◇新しい時代を豊かに生きる力を育む学校

学力の基礎・基本の定着と既習事項を活用して主体的に学ぶ力の育成を目指し、自ら考え、課題意識をもち、その解決に取り組むことができる力を養う。また、「本物体験」を重視し、コミュニケーション力と探究心を育てる。

### ◇かかわり、つながり、高め合う、笑顔があふれる学校

様々な「ひと」「もの」「こと」とのかかわりを通し、多様性を理解し、互いの良さを生かし、協力して生活していく力を育てる。かかわりの中で一人一人が自己有用感をもち、向上心をもって自分の在り方を探り、実践していく態度を養う。

### ◇地域の風が行きかう学校

コミュニティスクールであることを生かし、子どもたちを育てる一つのチームとして、保護者・地域の願いや思いを取り入れながら、協働して子どもたちを育てていく。

今年度は開校50周年の年にあたり、保護者、地域とともに祝い、学校の歴史・伝統を見つめ直すとともに、これからの七小について、また子どもたちの未来について、語り合うことのできる信頼関係を築く。

## 2 学校経営の目標

### (1) 中期的目標

- ① 学力向上…カリキュラムマネジメントによる魅力ある授業づくり  
学習の意味を見出し、自主的・主体的な学習の習慣を身に付ける。
- ② 魅力ある学校づくり…多様性の受容と尊重 協働・共感・共生  
互いを認め、励まし合う関係づくりをし、協働・共感・共生できる力を育む。
- ③ 健康・健全な生活習慣  
自他の健康に関心をもち、人生100年時代に向けた体づくり、健康のための生活習慣・運動習慣を身に付ける。

### (2) 本年度の目標

- ① 家庭学習の習慣化を目指し、自分の力でできることには自分で、分からない時には解決のために適切な手段を選択して、主体的に学ぶことのできる力を育てる。
- ② 学校・学年・学級・班など、様々な集団において人とかかわる中で、自分とは異なる考えを理解し、折り合いをつけて互いを尊重した協力・協働によって様々なことを実現していく力を育てる。
- ③ 日常的な運動や生活習慣が健康や成長に大きくかかわっていることを理解し、自分の健康や成長への関心高め、実践力を身に付ける。

### 3 目標達成に向けての課題

#### ① 学力向上

ICT機器の活用による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実により、基礎・基本の定着を図り、学びへの意欲を向上させること。

#### ② 魅力ある学校づくり

生活指導や道徳教育を充実させ、児童が居場所と感じられる学校・学級づくり、仲間との絆づくりを通して多様性を認め合いながら、自他を大切にできる人権感覚を磨き、自己肯定感及び社会の一員としての有用感を育むこと。

#### ③ 健康・健全な生活習慣

生活習慣の課題を児童自身が理解し、改善しようという意欲がもてるよう、具体的な取組の工夫を計画的に行う。また、家庭への支援力とケースに応じた関係機関との連携力を、個々の教員が身に付けていく必要がある。

◇教育活動における安全配慮や教室・施設の安全点検を怠らず、安全管理を徹底する。

### 4 経営の具体策

#### ① 学力向上

- ア 教職員の授業力の向上 外部研修への積極的参加 …… 一人3回以上  
校内研修の充実 …… 授業を見合い協議する時間の設定
- イ 家庭学習習慣の定着 一人一台タブレットの活用
- ウ 読書活動の充実 学校図書館・市立図書館の活用
- エ ICTを活用した個別最適な学び、ユニバーサルデザインを意識した学びの工夫

#### ② 魅力ある学校づくり

- ア 児童理解に努め、いじめを許さない指導を徹底と不登校の未然防止のための組織的対応
- イ たてわり班活動や地域との関わりの実施と様々な人の中での居場所づくり
- ウ 幼保小中の連携 学びの連続性を重視したスムーズな接続とつながり
- エ 特別支援教育の充実 児童・保護者への理解教育 個に応じた支援体制の確立
- エ 本物体験 心動かす体験 様々な「ひと」「もの」「こと」との関わり
- オ 50周年を地域と共に祝い、これまでの歴史を学び、未来への夢を描くことのできる学習活動の工夫

#### ③ 健康・健全な生活習慣

- ア 朝・中休み・昼休み・放課後の外遊びの推奨と持久走・縄跳び等の取組の活性化
- イ 給食後の歯磨きを習慣化させ、自分で自分の体をつくる意識の向上
- ウ 保護者への情報提供

◇職員間での早期情報共有により組織的対応、保護者等への適切な連絡・連携を図る。

### 5 年度末のチェックポイント

- 学力調査・東京ベーシックドリル等における、全体の平均数値2ポイント以上の増加
- 学校図書館・学級図書等の利用冊数
- いじめ・不登校についての状況（不登校0）
- 児童・保護者による学校評価の結果 肯定的評価の割合が9割以上
- コミュニティ・スクール委員会における学校の自己評価に対する評価